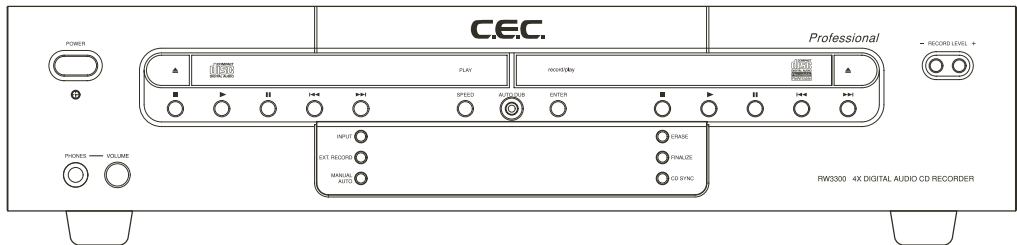


CD RECORDER

RW3300

取扱説明書



C.E.C.

●安全上のご注意	3
●コンパクトディスクについて	7
●接続	9
●リモコンの使用方法	10
●付属品の確認	11
●各部の名称	11
●CDを簡単にダビングするには (4倍速/2倍速)	14
●再生	16
●リピート再生	19
●プログラム再生	20
●シャッフル再生	22
●イントロチェック	22
●録音の前に	23
●CDをダビングするには (4倍速/2倍速/1倍速)	24
●外部機器からの録音	26
●外部機器からの録音時の機能	28
●便利なダビング機能	30
●ファイナライズ	31
●アンファイナライズと消去 (CD-RWのみ)	32
●ディスプレイの表示	33
●メッセージ一覧	34
●おや？故障かな？	35
●仕様	35
●お手入れ	35
●保証とアフターサービス	36

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全にお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、けがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性があります。

注意を促す記号



一般的な注意



感電注意

してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

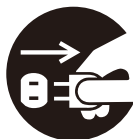


禁止



分解禁止

必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号



電源プラグを
コンセントから抜く



一般的な強制



警告



万一、次のような異常が起きたら…

- ・煙が出たり、変なおいや音がする。
- ・機器の内部に異物や水が入った。
- ・落したり、キャビネットを破損した。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。



- ・電源コードを傷つけない。
- ・電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
- ・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

コードが破損すると、火災、感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(心線の露出、断線など)、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。

- ・電源プラグにほこりをためない。

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災、感電の原因となります。
電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

- ・通風孔をふさがない。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・通風孔に異物を入れない。

内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると、火災、感電の原因となります。

- ・機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。

内部に水が入ると、火災、感電の原因となります。



警告



- 表示された電源電圧（交流 100ボルト）で使用する。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外では使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災、感電の原因となります。



- この機器のカバーは絶対に外さない。

カバーを開けたり改造すると、火災、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。



- この機器のカバーを開けたり、内部に手を入れない。

この表示部分に手を近づけたり触れたりすると、感電やけがの原因となります。



注意



- この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

- 電源を入れる前には、音量を最小にする。

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

- 電池を入れるときは（+）と（-）の向きに注意し、機器の表示通りに入れる。

極性を間違えると電池の破裂、液漏れによって、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長期間（一ヶ月以上）使用しないときは、電池を取り出しておく。

電池の液漏れによって、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。液漏れをおこしたときは、電池ボックスに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。



注意



- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
 - ・湿気やほこりの多い場所に置かない。
 - ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所に置かない。
- 火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・電源コードを熱器具に近づけない。
- コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となります。

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 感電の原因となることがあります。

- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
- コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

- ・指定以外の電池は使用しない
 - ・新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。
 - ・電池を加熱、分解、充電したり、火や水の中に入れない。
- 液漏れによって、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- ・旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- ・お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜く。
- 感電の原因となることがあります。

- ・移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

コンパクトディスクについて

CD-RとCD-RW

CD-Rディスクには一度だけしか録音できません。録音した曲を消去することもできません。ただし、ファイナライズ前のディスクに録音可能時間が残っている場合は、追加録音することができます。録音が終わったCD-Rをファイナライズ(31ページ)すると、一般のCDプレイヤーでも再生できるようになります。(一部のCDプレイヤーでは再生できないことがあります。)

CD-RWディスクの場合は、録音可能時間がいっぱいになっても、録音した曲を消去すれば繰り返し使用することができます。ただし消去できるのは、全曲または最後に録音した曲だけです。途中の曲だけを消去することはできません。

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレイヤーでしか再生できません。

本機のトレイ I ではCDおよびファイナライズされたCD-R、CD-RWを、トレイ II ではCD、CD-R、CD-RWを使用することができます。

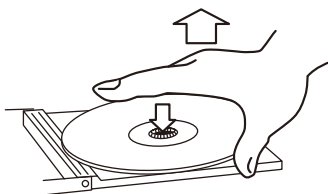
ファイナライズ

TOC(録音したデータの情報)をディスクに記録することをファイナライズといいます。ファイナライズしたディスクには、録音することができません。ただしCD-RWの場合は、アンファイナライズすれば再び録音することができます。

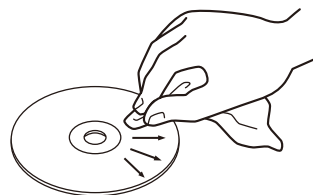
(TOC:Table of Contents)

ディスクの取り扱い方

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットして下さい。(コンパクトディスクの録音/再生は片面だけです。)
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむようにしてください。



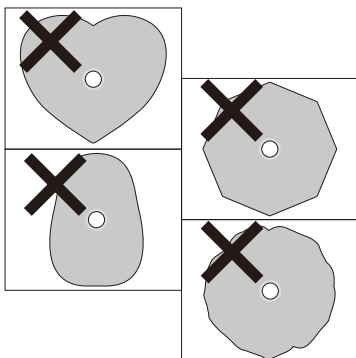
- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- 信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

コンパクトディスクについて(つづき)

- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- CD-RやCD-RWディスクの取扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

接続

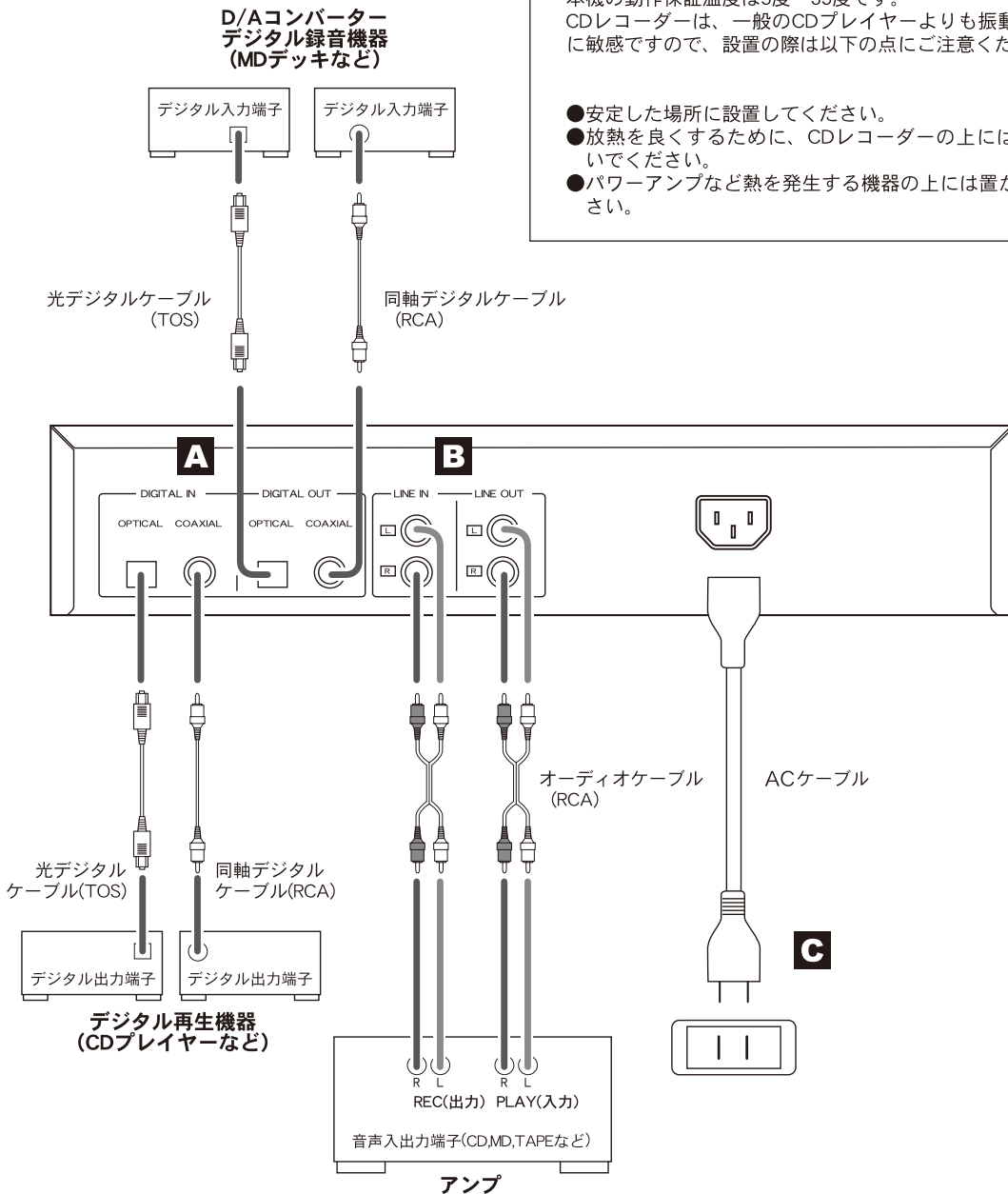
⚠ 接続時の注意

全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

⚠ 設置の注意

本機の動作保証温度は5度～35度です。
CDレコーダーは、一般のCDプレイヤーよりも振動に弱く、熱に敏感ですので、設置の際は以下の点にご注意ください。

- 安定した場所に設置してください。
- 放熱を良くするために、CDレコーダーの上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。

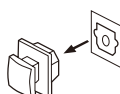


リモコンの使用方法

A デジタル入出力端子 [DIGITAL IN/OUT]

光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルを使って、CDプレイヤー、MDデッキ、CS/BSチューナー、D/Aコンバーターなどのデジタル入出力端子(DIGITAL IN/OUT)と接続します。

- 光デジタルケーブルを接続する際は、接続端子のキャップをはずしてください。使用しないときはキャップをつけておいてください。



B 音声入出力端子 [LINE IN/OUT]

アナログで録音/再生するときに使用します。アンプやカセットデッキなどの音声入出力端子と接続してください。

- アンプ側にCD用の入出力端子がない場合は、MD、TAPE用の端子に接続してください。
- オーディオケーブルは、白のピンプラグを白(L)端子と、赤のピンプラグを赤(R)端子と接続してください。



- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因となります。

C 電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。

- ⚠ AC100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

結露現象について

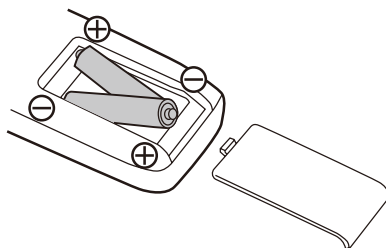
本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1~2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れてください。



電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

電池についての注意

- ⚠ 乾電池を過って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

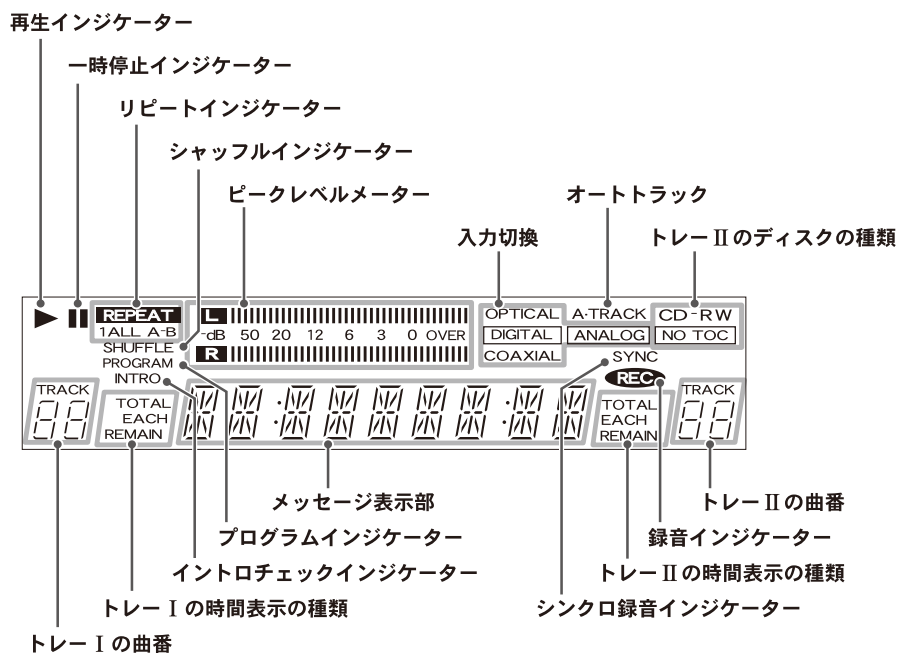
- 乾電池の⊕と⊖の向きを電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービスセンターまでご連絡ください

- リモコン
- リモコン用乾電池(単3) × 2本
- オーディオケーブル(RCA) × 2本
- デジタルケーブル(OPTICAL) × 1本
- 電源コード × 1本
- 取扱説明書
- 保証書

各部の名称 1



各部の名称 2

主電源ボタン

電源のオンとオフを切り換えます。

スタンバイ LED

スタンバイ時点灯します。

トレー I OPEN/CLOSEボタン

ディスクトレイを開閉します。

マニュアル/オートボタン (26ページ)

曲番の付け方を設定します。

消去ボタン(32ページ)

CD-RWのアンファイナライズと消去に使用します。

ファイナライズボタン(31ページ)

CD-R/CD-RWのファイナライズに使用します。

トレー II OPEN/CLOSEボタン

外部録音ボタン(26ページ)

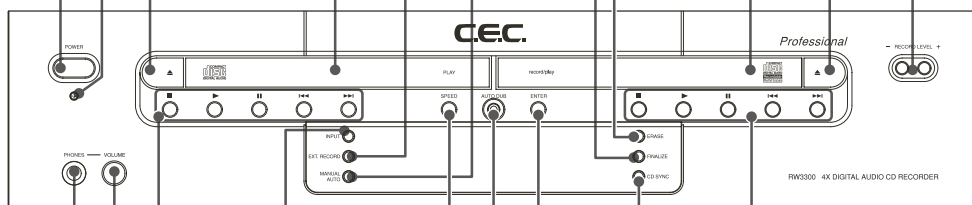
外部から録音するときに録音準備になります。

録音レベルボタン(26ページ)

録音レベルを調節します。オートダビングの時は無効になります。(0dBにリセットされます)

トレー I

トレー II



インプットセレクトボタン (26ページ)

外部入力から録音するときに、入力を切り換えます。

トレー II 操作ボタン(16ページ)

シンクロボタン(29ページ)

デジタルシンクロ録音に使用します。アナログ入力には不要です。

トレー I 操作ボタン(16ページ)

ヘッドホンボリューム

ヘッドホンの音量調節を行います。押すたびにつまみが出たり入ったりします。

ダビングスピードボタン (14ページ)

ダビングの速度を切り換えます。

ヘッドホンジャック

ヘッドホンを使用するときは、ここにヘッドホンプラグを差し込んでください。

オートダビングボタン (14ページ)

長押しすると4倍速のダビングを開始し、短時間ではオートダビングをスタンバイ状態にします。

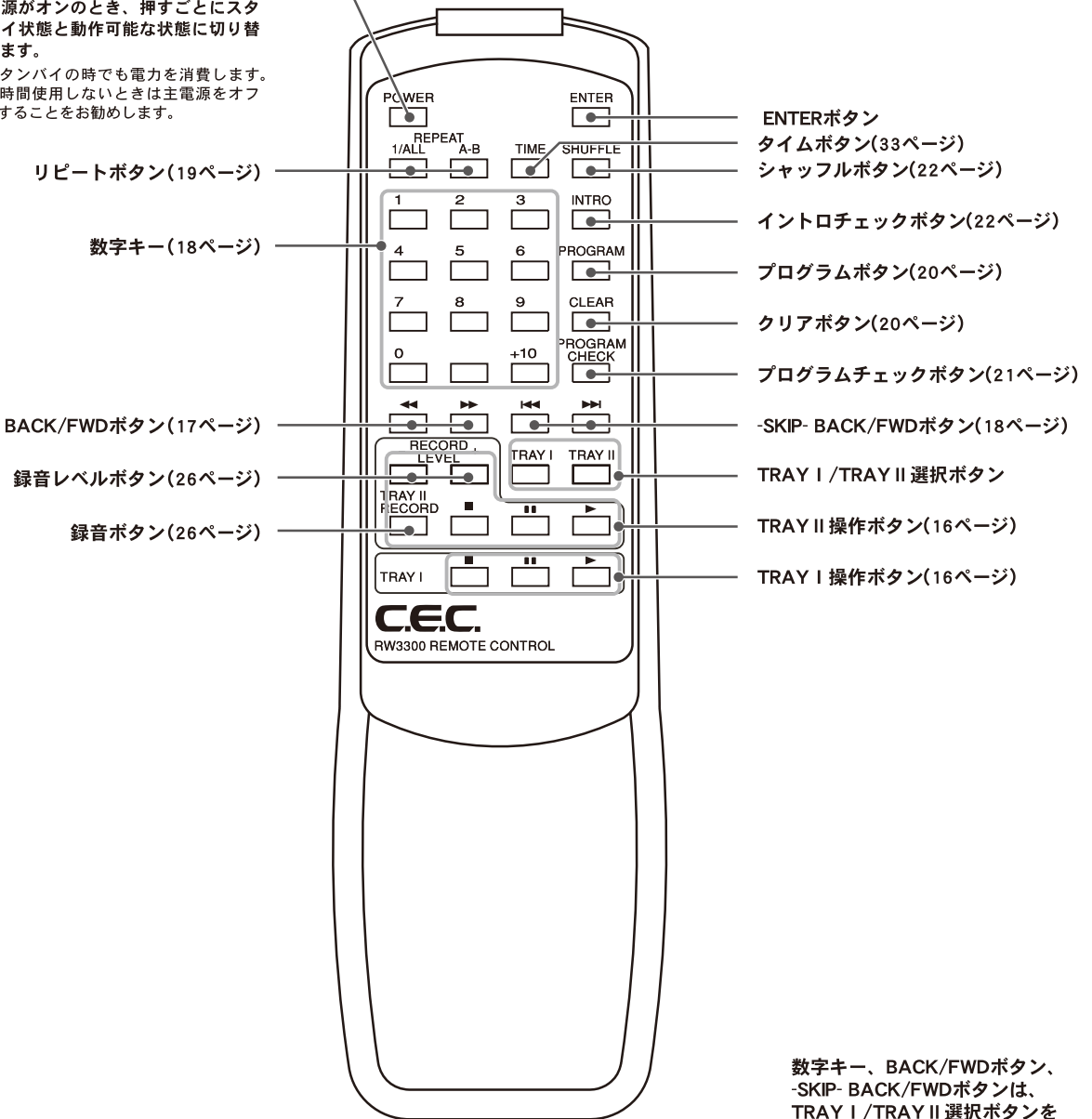
エンターボタン

ダビングスタンバイ状態にてダビングを開始します。プログラムの登録でトラックを確定します。

スタンバイボタン

主電源がオンのとき、押すごとにスタンバイ状態と動作可能な状態に切り替わります。

※スタンバイの時でも電力を消費します。長時間使用しないときは主電源をオフにすることをお勧めします。

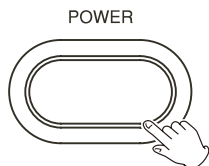


数字キー、BACK/FWDボタン、
-SKIP- BACK/FWDボタンは、
TRAY I /TRAY II 選択ボタンを
押してトレーを選んでから
操作してください。

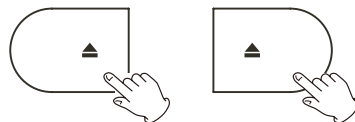
CDを簡単にダビングするには

CDをそのままコピーする最も簡単な方法です。4倍速または2倍速のダビングが終わると、自動的にファイナライズします。詳しいダビング方法については、22ページをご覧ください。

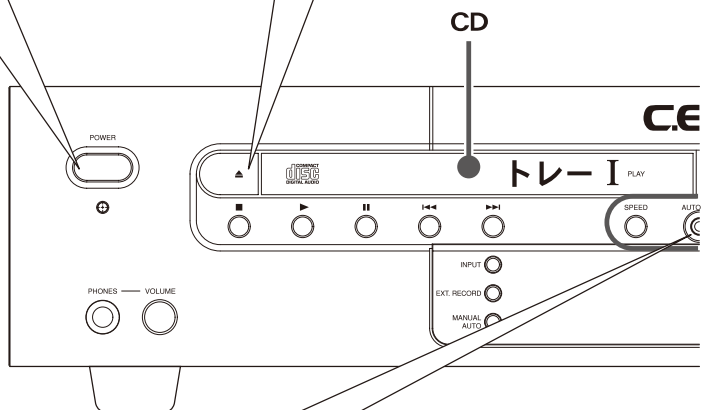
1 電源を入れる。



2 トレー I にCDを、トレー II に録音用の



OPEN/CLOSEボタンを押すとディスクトレーが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせてから、OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを閉めてください。



A 簡単4倍速ダビング

AUTO DUBを3秒以上長押しすると、自動的に4倍速ダビング開始。終了後、自動的にファイナライズ。

最も簡単で短時間ダビングできる方法です。



B 指定速度ダビング(4倍速)

(1) AUTO DUBを押す



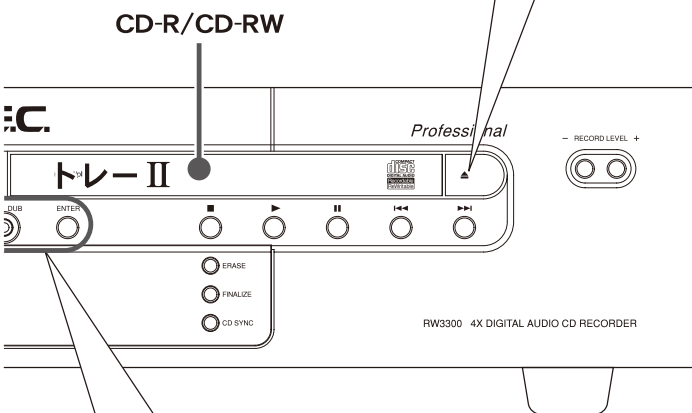
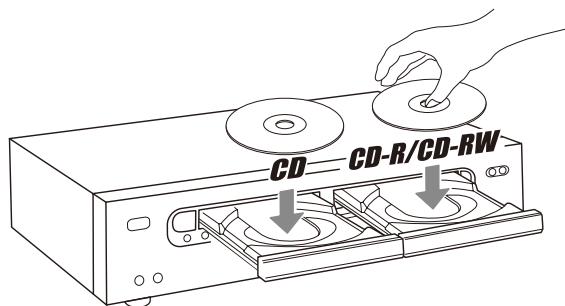
(2) SPEEDを何度か押し、4倍速または2倍速または1倍速を選択する。



(3) ENTERを押す、ダビングを開始する。



CD-RまたはCD-RWをセットする。



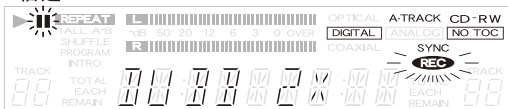
1/2倍速/1倍速)

ダビング終了後、ファイナライズするには
FINALIZEボタンを3秒以上長押しする。

4倍速



2倍速



1倍速



●シングルCDなど録音時間が短いものを何枚も録音する場合など、ファイナライズしたくないときは、1倍速でダビングしてください(25ページ)。

●2倍速/4倍速ダビング中は、トレー I またはトレー II の停止ボタン(■)しか機能しません。

●ダビングを中断する時は、トレー I または II の停止ボタン(■)を押してください。(中断した場合は、ファイナライズはされません)

●AUTO DUB長押しによる4倍速ダビングの場合、ダビング終了後自動的にファイナライズが始まります。

ファイナライズには約1分かかります。

ファイナライズが終わると、総録音時間と曲数が表示されます。

それ以外のダビング方法では、ダビング終了後自動的にファイナライズは行われません。

●2で、トレー II にセットされた録音用ディスクの録音可能時間がトレー I のCDよりも少ない場合は、AUTO DUBボタンを押すと“NO SPACE : D2”が表示されます。全部の曲をダビングしたい場合は、十分な空きのあるディスクと交換してください。そのままダビングした場合は、録音の途中でディスクの録音可能時間がなくなるとフェードアウトして録音を終了し、自動的にファイナライズします。

●ダビング中は手動で曲番を付けることはできません。

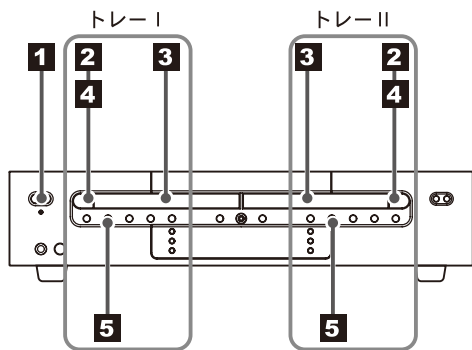
●2倍速/4倍速ダビング中は聞き苦しい音が出る場合がありますので、音量にご注意ください。

録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(31ページ)

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

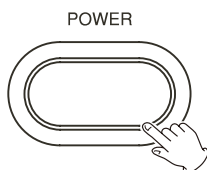
録音およびファイナライズ中は、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

再生 1

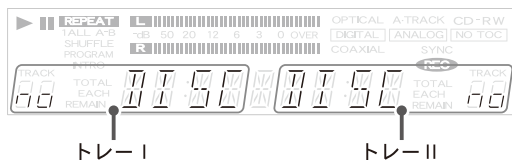


本機のトレイ I ではCDおよびファイナライズ済のCD-R、CD-RWを、トレイ II ではCD、CD-R、CD-RWを再生することができます。

1 電源を入れる。

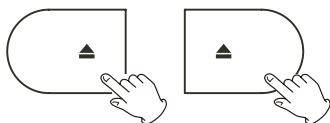


ディスクがセットされていない場合は、"READING"が点滅したあと"no DISK DISK no"が表示されます。

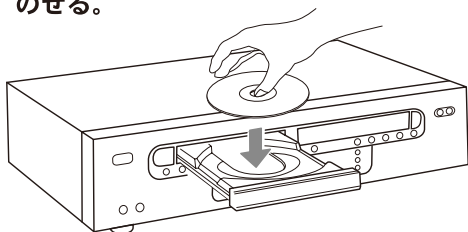


2 トレイ I または II の OPEN/CLOSE ボタンを押す。

ディスクトレイが手前に出ます。

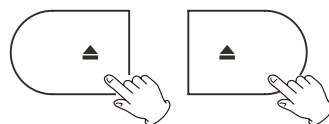


3 ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせる。

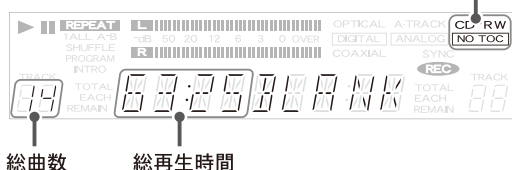


4 OPEN/CLOSE ボタンを押す。

ディスクトレイが閉まります。



トレイ II のディスクの種類



総曲数

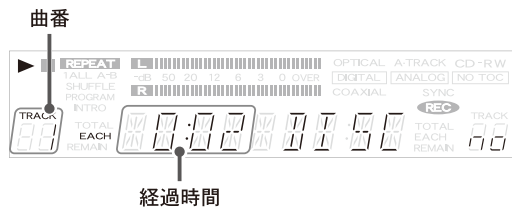
総再生時間

"READING"が点滅したあと、総曲数と総再生時間が表示されます。

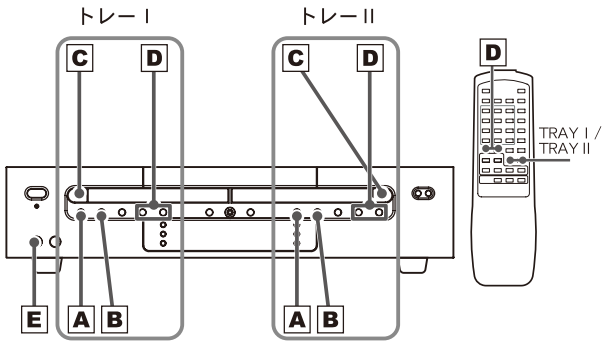
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。
- トレイ II にディスクをセットした場合は、ディスクの種類が表示されます。ファイナライズされていないCD-R/CD-RWをセットした場合は"NO TOC"が点灯します。また、何も録音されていないCD-R/CD-RWをセットした場合は"BLANK"が表示されます。

5 再生したいトレイの再生ボタン(▶)を押す。

1曲目から再生が始まります。



経過時間



A 再生をやめるには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。



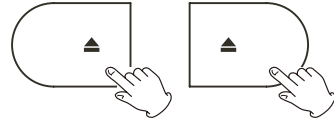
B 再生を一時停止するには

一時停止ボタン(⏸)を押すと再生が一時停止します。
一時停止ボタン(⏸)または再生ボタン(▶)を押すと、
停止していたところから再び再生が始まります。



C ディスクを取り出すには

OPEN/CLOSEボタンを押すと、再生が停止してディスク
トレーが開きます。



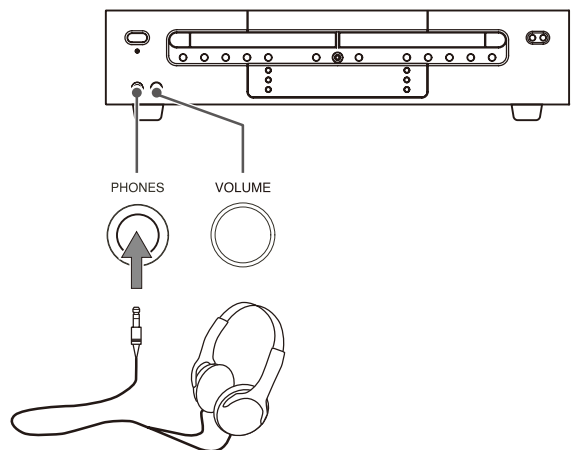
D 聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中に◀◀/▶▶を押したままでいると、早送り/早戻
しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなし
てください。



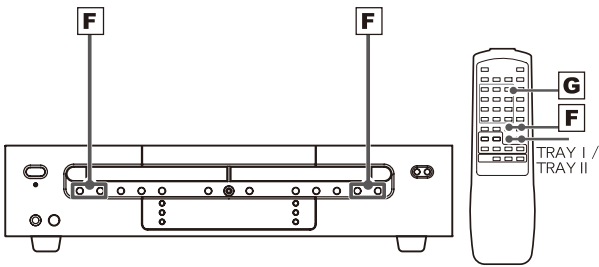
E ヘッドホンで聴くには

ヘッドホンプラグをPHONEジャックに差し込んで
ください。



ヘッドホンボリュームで音量を調節します。
ボリュームを押すたびにつまみが出たり入ったりします。

再生 2



F 好きな曲から再生するには(スキップ)

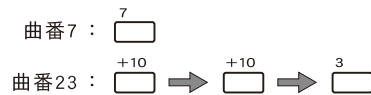
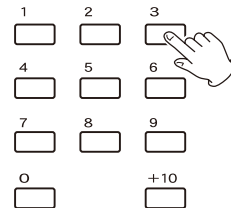
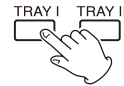
再生中に◀◀/▶▶を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。



- 停止中および一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。再生ボタンを押すと再生が始まります。
- 再生中は、◀◀ を一回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、◀◀ を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。
- リモコンの場合は、TRAY I または TRAY II ボタンで操作したいトレーを選んでから、-SKIP- BACK/FWD ボタンを押してください。

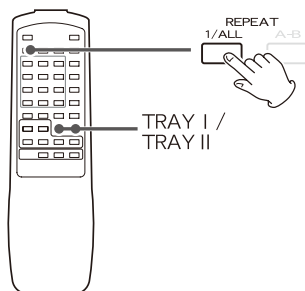
G リモコンで再生したい曲を選ぶには

停止中または再生中に、リモコンのTRAY I または TRAY II ボタンで操作したいトレーを選んでから数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。



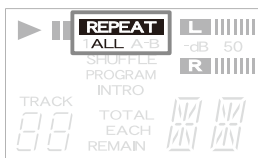
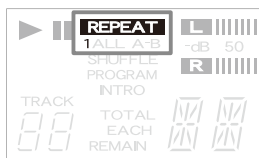
- 一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。
- シャッフル再生モードでは操作できません。
- プログラム再生モードでは、数字キーは曲のプログラムに使用しますので、選曲には使えません。
- "READING"の点滅中にそのディスクに存在しない曲番を押すと、一番最後の曲が再生されます。

リピート再生



リモコンのREPEAT 1/ALLボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。

→ REPEAT 1 → REPEAT ALL → (オフ)



■一曲リピート [REPEAT 1]

再生中にREPEAT 1/ALLボタンを押して"REPEAT1"を選ぶと、再生中の曲が繰り返し再生されます。1曲リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲の繰り返し再生に変わります。

- 停止中に1曲リピートに設定してから曲番を選んで再生すると、その曲が繰り返し再生されます。

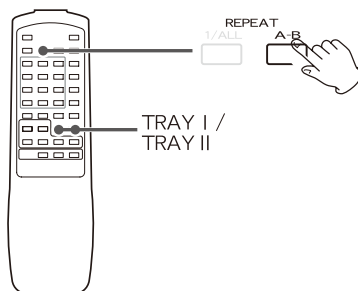
■全曲リピート [REPEAT ALL]

ディスクの全ての曲を繰り返し再生します。プログラムモードでは、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

- 両方のトレーにディスクがセットされている場合は、ディスクの全曲を交互に繰り返し再生します。

→ トレー I の全曲 → トレー II の全曲

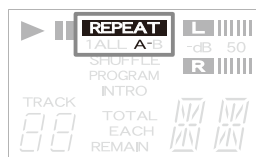
(5回再生すると停止します)



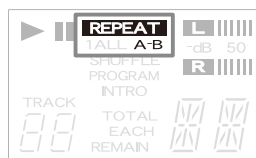
■A-Bリピート

ある1曲の中の特定の部分を繰り返し再生することができます。

CDを再生し、繰り返しを始めた部分(A点)になったらREPEAT A-Bボタンを押します。"REPEAT A"が点灯します。

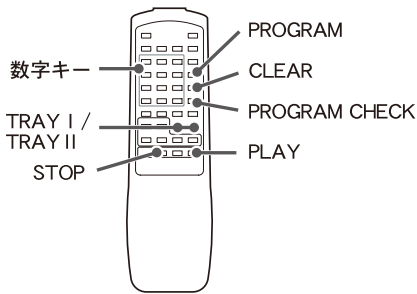


終了したい部分(B点)でもう一度REPEAT A-Bボタンを押すと、指定した部分(A-B)が繰り返し再生されます。



- A点を指定したあと、B点を指定する前に次の曲に行ってしまった場合、および-SKIP- BACK/FWDボタンを押してスキップした場合は、A-Bリピートは解除されます。
- A点を指定したあと、B点まで早送り(サーチ)することは可能です。
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWでA-Bリピートすることはできません。

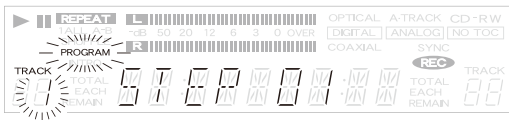
プログラム再生



両方のプログラムから聴きたい曲を聴きたい順に、32曲までプログラムして再生することができます。

- 再生中はプログラムできません。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

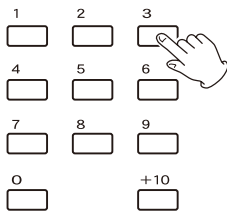
1 停止中にリモコンのPROGRAMボタンを押す。



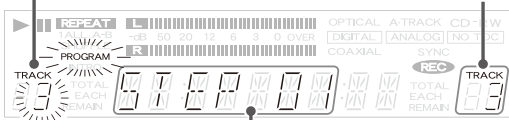
"STEP 01"が点灯し、曲番"1"と"PROGRAM"インジケータが点滅します。

2 曲番を選ぶ。

リモコンのTRAY I またはTRAY II を押してトレーを選んでから、数字キーで曲番を選んでください。



選んだ曲番(トレー I の曲を選んだ場合)
選んだ曲番(トレー II の曲を選んだ場合)



プログラム番号(1~32)

- MUSIC SKIPボタンでもプログラムできます。
- 曲番を間違えた場合は、数字キーを押し直してください。

3 ENTERボタンを押す。

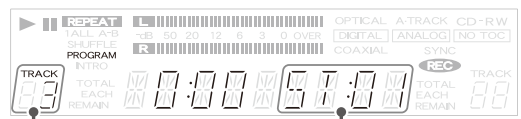


1曲目のプログラムが完了し、次のプログラム番号(STEP 02)が表示されます。

- 複数の曲目をプログラムするときは、**2**と**3**の操作を繰り返してください。
同じディスクの曲から続けてプログラムする場合は、TRAY I / TRAY II ボタンを押す必要はありません。
- 32曲までプログラムできます。32曲を超えると"PGM FULL"が表示されます。
- 曲番を選ばずにPROGRAMボタンを押した場合は、選択されていたディスクの1曲目がプログラムされます。

プログラムを中断したい場合は、停止ボタンを押してからCLEARボタンを押してください。

4 全てのプログラムが終わったらSTOPボタンを押す。



最初に選んだ曲番

プログラム番号(ステップ: 0 1)

5 PLAYボタンを押す。



プログラム再生が始まります。
プログラムされた全ての曲の再生が終わると、**4**の状態に戻ります。

A プログラムした内容を確認するには

停止中にPROGRAM CHECKボタンを繰り返し押すと、曲番とプログラム番号が順番に表示されます。



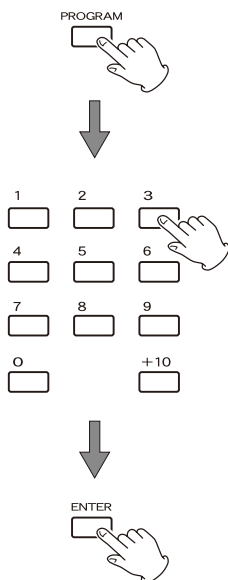
B プログラムした曲をリピートするには



プログラムしたあと、REPEATボタンを2回押して全曲リピートにすると、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

C プログラムした曲を追加するには

停止中にPROGRAMボタンを押してから**2**と**3**の操作を繰り返すと、プログラムの最後に曲が追加されます。



D プログラムの一部を変更するには



停止中にPROGRAM CHECKボタンを繰り返し押して、変更したいプログラム番号を表示させます。数字ボタンで曲番を選んでPROGRAMボタンを押すと、新しい曲番がプログラムされます。

E プログラムの一部を消去するには



停止中にPROGRAM CHECKボタンを繰り返し押して、削除したいプログラム番号を表示させてからCLEARボタンを押すと、その曲だけがプログラムから削除され、それよりあとに登録されていた曲のプログラム番号が繰り上がります。

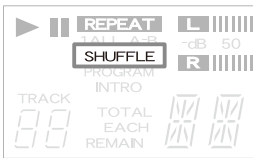
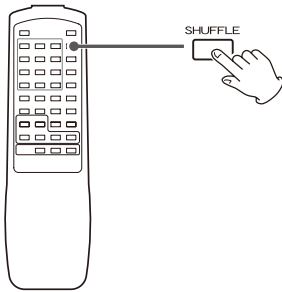
F 全てのプログラム内容の消去



4の状態ではCLEARボタンを押すと、全てのプログラム内容が消去されます。再生中またはプログラムの編集時は、STOPボタンを押してからCLEARボタンを押してください。

どちらかのトレーを開閉すると、プログラム内容は消去されます。POWERボタンを押すと、プログラム内容は消去されません。

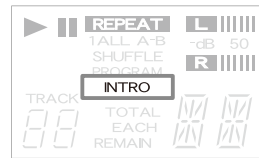
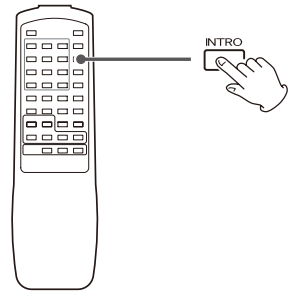
シャッフル再生



停止中にまたは再生中にリモコンのSHUFFLEボタンを押すと、シャッフル再生モードになります。シャッフル再生モードで再生すると、両方のディスクの曲がランダムに再生されます。

- シャッフル再生中に-SKIP- FWDボタンを一回押すと、次の曲がランダムに選択されます。-SKIP- BACKを押すと、現在の曲の頭に戻ります。
- 全ての曲の再生が終わると停止します。
- シャッフル再生を中断したいときは、STOPボタンを押してください。
- シャッフル再生モードを解除したいときは、SHUFFLEボタンを押してください。また、電源を切ると解除されます。

イントロチェック



停止中にリモコンのINTRO CHECKボタンを押してからPLAYボタンを押すと、各曲の冒頭部分が順番に10秒ずつ再生されます。聴きたい曲の再生中にINTRO CHECKボタンを押せば、そこから通常の再生に戻ります。

- 再生中にINTRO CHECKボタンを押した場合は、次の曲からイントロチェックが始まります。
- 再生を始めてから10秒以内にINTRO CHECKボタンを押した場合は、その曲からイントロチェックが始まります。
- プログラムされた状態でINTRO CHECKボタンを押すと、プログラムされている曲が順番に10秒ずつ再生されます。

両方のトレーにディスクがセットされていた場合は、片方のディスクのイントロチェックが終わると、他方のディスクのイントロチェックを始めます。全ての曲のイントロチェックが終わると、停止します。イントロチェックモードを解除したい場合は、もう一度INTRO CHECKボタンを押してください。

録音の前に

- CDの規格により、99曲までしか録音できません。
また、4秒以下の曲は録音できません。
- 録音を開始してから4秒以内に停止ボタン(■)または一時停止ボタン(■)を押した場合は、4秒になってから停止します。その間は無音録音状態になります。
- 録音の途中でディスクが99曲になった場合は、その曲が終わると録音を停止します。
- 録音の途中でディスクの録音可能時間がなくなった場合は、フェードアウトしたあと自動的にファイナライズして、停止します。
生放送などを長時間録音するためにディスクを交換する場合は、ディスクの録音可能時間がなくなる前に停止ボタンを押して録音を停止し、新しいディスクに交換してから再び録音を始めてください。ディスクの録音可能時間はリモコンのTIMEボタンを押すと確認できます。(33ページ)
- 途中まで録音してあるディスクを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。
- 録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレイヤーでも再生できるようになります。
- ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください。(32ページ)
- シンクロ録音機能やオートトラック機能を使う場合、本機はインクリメントレベルで設定したレベルに従って録音を開始し、曲を区切ります。そのため、冒頭や曲間に無音部分のあるソースを録音すると、一曲あたりの長さ(再生時間)が一致しないことがあります。
- 一曲をリピートで再生して録音すると、曲番が正しく付かないことがあります。
- HDCDマークの付いたCDは、通常のCDのフォーマットで録音されます。

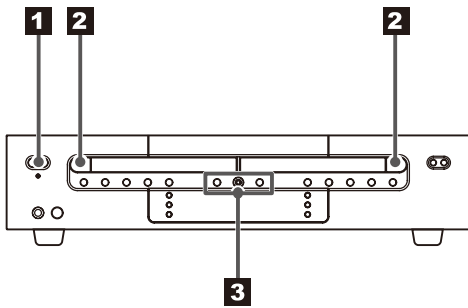
オートサンプリングレートコンバーター

一般のデジタルオーディオには、次の3種類のサンプリング周波数が使われています。

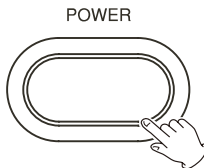
- 48kHz : DATの標準モード、衛生放送のBモードなど。
- 44.1kHz : DATの標準モード、CD、MDなど。
- 32kHz : DATの標準および長時間モード、衛生放送のAモードなど。

CS/BS放送やDATなど、CDと異なるサンプリング周波数のソースや、ピッチコントロールのかかったデジタル周波数を44.1kHzに自動変換して録音します。これにより、サンプリング周波数が32kHz~48kHzのソースを、切り換え操作なしに高音質なデジタル信号のまま録音することができます。

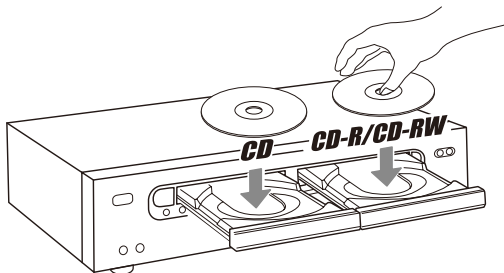
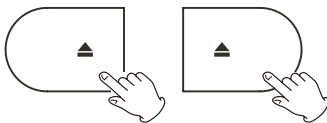
CDをダビングするには(4倍速/2倍速/1倍速)



1 電源を入れる。



2 トレー I にCDを、トレイ II に録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。



OPEN/CLOSEボタンを押すと、ディスクトレイが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせてから、OPEN/CLOSEボタンを押してトレイを閉めてください。

- 何も録音されていないディスクをセットすると、"BLANK"が表示されます。

3 ダビングの種類を選択する。

ワンタッチ4倍速ダビング

(1)一枚のCDをそのままダビングするには、オートダビングボタンを約3秒ほど押し続けると、自動的に4倍速ダビングが始まります。



(2)ワンタッチ4倍速ダビングが終わると自動的にファイナライズします。ディスプレイには次のように表示されます。

"PMA WRITE" : 録音した内容を記録中です。
"COMPLETE" : 記録が完了しました。
"FINALIZE" : ファイナライズ中です。
"COMPLETE" : ファイナライズが完了しました。

ファイナライズには約1分かかります。
ファイナライズが終了すると、総録音時間と曲数が表示されます。

- トレイ I またはトレイ II の停止ボタン(■)を押してダビングを中断した場合は、ファイナライズはされません。
- トレイ I にセットしたディスクに傷、汚れやソリがあると、うまくダビングできないことがあります。特に4倍速でダビングする際は、傷などの影響を受けやすくなりますので、十分ご注意ください。ディスクの状態が悪いときは、1倍速または2倍速でダビングしてください。また、自動的に2倍速や1倍速に制限されることがあります。
- トレイ I に、CD-RWをセットした場合、4倍速でダビングすることはできません。

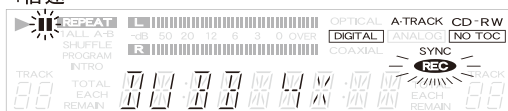
指定速度ダビング

- (1) 一枚のCDをそのまま指定の速度でダビングするには、まずオートダビングボタンを押し、スピードボタンで4倍速/2倍速/1倍速のダビング速度を選択します。

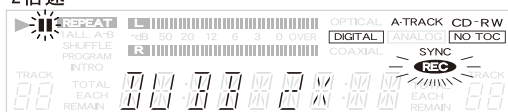
SPEED



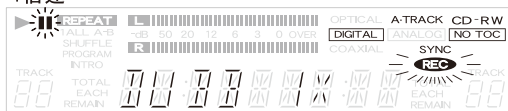
4倍速



2倍速



1倍速



トレイ II にセットされた録音用ディスクの録音可能時間がトレイ I のCDよりも少ない場合は、AUTO DUBボタンを押すと"NO SPACE : D2"が表示されます。全部の曲をダビングしたい場合は、十分な空きのあるディスクと交換してください。

そのままダビングした場合は、録音の途中でディスクの録音可能時間がなくなるとフェードアウトして録音を終了し、自動的にファイナライズします。

- (2) ENTERボタンを押す。
ダビングが始まります。

ENTER



- ダビング中は手動で曲番を付けることはできません。
- ダビング中はトレイ I または II の停止ボタン(■)しか機能しません。
- ダビングを中断するときは、トレイ I または II の停止ボタン(■)を押してください。
- ダビングが終わると、ディスプレイには次のように表示されます。

"PMA WRITE" : 録音した内容を記録中です。

"COMPLETE" : 記録が完了しました。

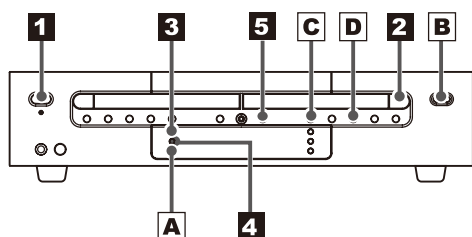
- (3) ファイナライズするには、FINALIZEボタンを約3秒ほど押し続けます(31ページ参照)。ファイナライズには約1分かかります。ファイナライズが終了すると、総録音時間と曲数が表示されます。

録音中およびファイナライズ中は、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

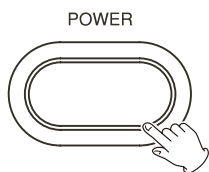
録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレイヤーでも再生できるようになります。(31ページ)

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレイヤーでしか再生できません。

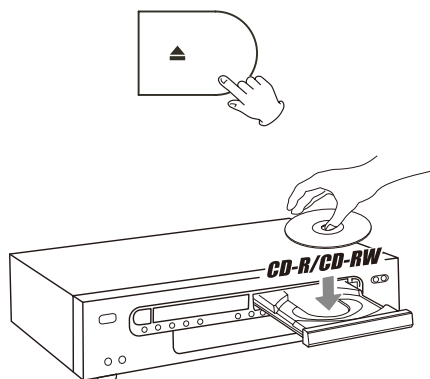
外部機器からの録音



1 電源を入れる。



2 トレー II に録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。



3 INPUTボタンを押して録音するソースを選ぶ。



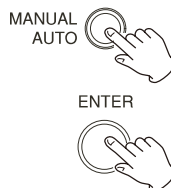
INPUTボタンを押すたびに、以下のように変わります。

- OPTICAL DIGITAL** DIGITAL OPTICAL(デジタル入力):
光ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき
- DIGITAL COAXIAL** DIGITAL COAXIAL(デジタル入力):
同軸ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき
- ANALOG** ANALOG(アナログ入力):
LINE INに接続した機器から録音するとき

必要に応じて以下の項目を変更してください。変更する必要がない場合は**4**に進んでください。

A 曲番の付け方(オートトラック)

MANUAL AUTOボタンを押して、曲番の付け方を選んでください(28ページ)。



- デジタル放送など、トラック番号の付いていないソースをデジタル入力で録音する場合、オートトラックをオンにしても曲番は付きません。録音中に曲番を付けたいところでENTERボタンを押して、曲番を付けてください。
- クラシックなど曲間に無音部分のあるソースをアナログ録音する場合、オートトラックをオンにしてもうまく曲番を付けられないことがあります。その場合はオートトラックをオフにして、録音中に曲番を付けたいところでENTERボタンを押して曲番を付けてください。

B 録音レベル

RECORD LEVELボタンを押すと、±18dBの範囲で1dB刻みに録音レベルを調節できます。

電源を入れたときは0dBになっています。CDなどを録音する場合、通常は0dBにしてください。



録音するソースの音を出し、音が最も大きいときにピークレベルメーターの"OVER"の部分が点灯しないように調節してください。"OVER"の部分が点灯すると、音が歪んでしまいます。

4 EXT. RECORDボタンを押す。



5 "READY"が表示されてから、エンターボタンを押す。



録音が始まります。
デジタル入力の場合は5秒以内に、アナログ入力の場合は20秒以内に外部機器の再生を始めてください。

- 録音中にENTERボタンを押すと曲番が付きます。
- 録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレイヤーでも再生できるようになります。
- 録音の途中でディスクの録音可能時間がなくなった場合は、フェードアウトしたあと自動的にファイナライズして、停止します。

生放送などを長時間録音するためにディスクを交換する場合は、ディスクの録音可能時間がなくなる前に停止ボタンを押して録音を停止し、新しいディスクに交換してから再び録音を始めてください。ディスクの録音可能時間はリモコンのTIMEボタンを押すと確認できます。(33ページ)

デジタル入力の場合は5秒、アナログ入力の場合は20秒の無音状態が続くと、録音を停止します。

録音中のソースの無音時間が、これら自動停止に至る時間より長い場合には、録音は途中で停止します。

録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレイヤーでも再生できるようになります。(31ページ)

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレイヤーでしか再生できません。

C 録音を止めるには

停止ボタン(■)を押すと、"PMA WRITE"が表示されたあと、録音が停止します。



録音中および"PMA WRITE"が表示されているときは、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

D 録音を一時停止するには



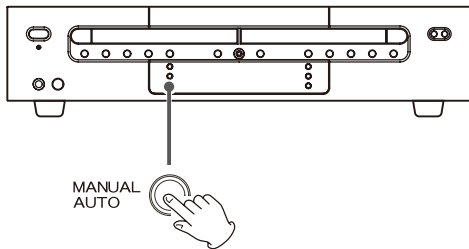
一時停止ボタン(||)を押すと一時停止状態になり、"REC"が点滅します。ENTERボタンを押すと、再び録音が始まります。

- 一時停止するたびに曲番が付きます。

外部機器からの録音時の機能

オートトラックとインクリメント

AUTO/MANUALボタンを押すたびに表示が変わります。



2秒経つと元の表示に戻ります。

オートトラックをオンにすると、録音中に自動的に曲番を付けることができます。

オートトラックがオンのときは、ディスプレイに"A-TRACK"が表示されます。

電源を入れたときは、オン(-60dB)になっています。

ダビングする場合

オートトラックは常にオンになります。デジタル信号で曲の変わり目を検出すると、自動的に曲番を更新します。

ENTERボタンで曲番を追加することはできません。

外部機器から録音する場合

デジタル入力で録音する場合は、デジタル信号で曲の変わり目を検出すると、自動的に曲番を更新します。

アナログ入力で録音する場合は、入力信号が3秒以上続けて無音状態(設定したインクリメントレベル以下)になったあとに次の曲が始まると、自動的に曲番を更新します。

- ENTERボタンを押して曲番を付ける場合、一度曲番を付けてから3秒間は新たに曲番を付けることはできません。
- デジタル放送など、トラック番号のついていないソースをデジタル入力で録音する場合、オートトラックをオンにしても曲番は付きません。録音中に曲番を付けたいところでENTERボタンを押して、曲番を付けてください。
- クラシックなど曲間に無音部分のあるソースをアナログ録音する場合、オートトラックをオンにしてもうまく曲番を付けられないことがあります。その場合はオートトラックをオフにして、録音中に曲番を付けたいところでENTERボタンを押して曲番を付けてください。

インクリメントレベル

「外部機器からアナログ入力で録音する際にオートトラックで曲番を付けたいとき」や、「CD、MD、DATなどのデジタルソースをデジタルシンクロ録音するとき」に、「無音状態」として検出するための音のレベルです。この取扱説明書では、録音するソースのレベルが設定した値より低い状態のことを、無音状態と呼びます。

選択できる数値は、-60、-50、-40dBです。

電源を入れたときは -60dBになっています。CDをデジタル入力で録音する場合は、CDのデジタル信号に従って曲番を付けますので、通常はインクリメントレベルを変更する必要はありません。

曲番がうまく付かない場合

雑音のあるソースをアナログ入力で録音するときに、インクリメントレベルをその雑音より下に設定してしまうと、曲番が付かないことがあります。その場合はインクリメントレベルを高くしてください。

小さな音から始まる曲を録音するときに曲の頭が欠けてしまう場合は、インクリメントレベルを低くしてください。

デジタルシンクロ録音

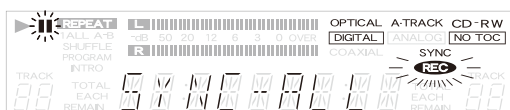
シンクロ録音機能は、CDプレイヤーやMDデッキなど外部に接続した機器からデジタル録音するときに便利です。

1 26ページの3でデジタル入力を選択したあとに、CD SYNCボタンを押してSYNC 1またはSYNC ALLを選ぶ。

SYNC 1：1曲だけシンクロ録音する場合



SYNC ALL：全ての曲をシンクロ録音する場合



2 EXT. RECORDボタンを押す。



3 "READY"が表示されてから、ENTERボタンを押す。



録音待機状態になります。

4 録音ソースの再生を始める。

CDやMD、DATの場合は、デジタル信号で曲の変わりを検出するとシンクロ録音を開始します。

上記以外のデジタルソースの場合は、インクリメントレベルで設定した値よりも大きな音を検出した時点でシンクロ録音を開始します。

- ソースの再生が終わると、本機は録音待機状態になります。停止ボタンを押して録音を終了してください。

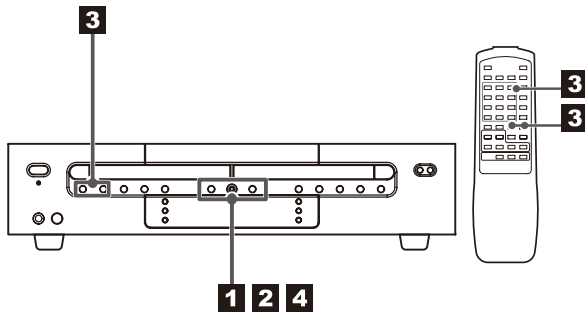
シンクロ録音がうまく働かない場合

- 雑音のあるソースをシンクロ録音するときに、インクリメントレベルをその雑音より下に設定してしまうと、シンクロ録音できなかつたり、ソースを再生していないのに録音を開始してしまうことがあります。その場合はインクリメントレベルを高くしてください。
- 小さな音から始まる曲を録音するときに曲の頭が欠けてしまう場合は、インクリメントレベルを低くしてください。

便利なダビング機能

1 曲ごとのダビング

丸ごとダビングの他に、1 曲ごとのダビングをすることができます。複数のディスクからお好きな曲だけを選んでオリジナルCDを作るときなどに便利な機能です。



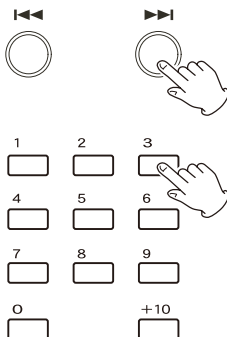
1 AUTO DUBボタンを押す。



2 SPEEDボタンを押し、ダビング速度を選択する。



3 スキップボタンまたはリモコンの10キーボタンで選曲する。



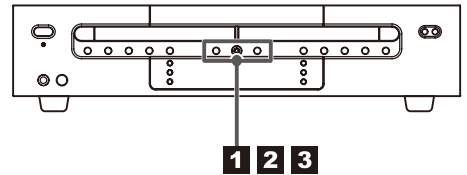
4 ENTERボタンを押して、ダビングを始めます。



- 一曲ダビングが完了すると、"PMA WRITE", "COMPLETE"が一時的に表示され、停止します。
- 更に一曲ダビングを続けるには、**1** ~ **4** の操作を繰り返します。

プログラムダビング

プログラムした曲をダビングすることができます。
(プログラムの方法は20ページ参照)



プログラムモードにします。
全てのプログラムが終わったら下記**1** ~ **3**の順に操作します。

1 AUTO DUBボタンを押す。



2 SPEEDボタンを押し、ダビング速度を選択する。

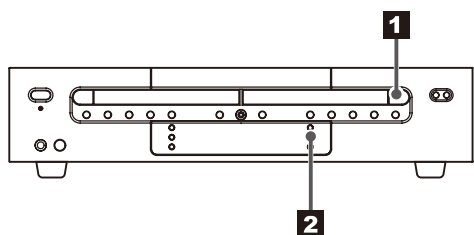


3 ENTERボタンを押して、ダビングを始めます。



- プログラムダビングが完了すると、"PMA WRITE", "COMPLETE"が一時的に表示され、停止します。

ファイナライズ

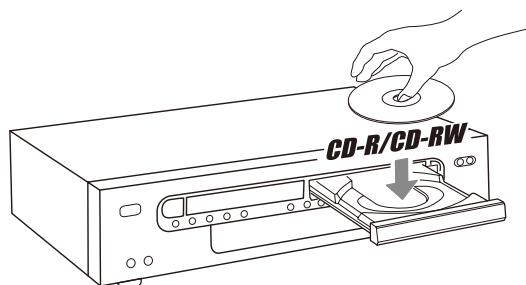


TOC(録音したデータの情報を)ディスクに記録することをファイナライズといいます。

CD-Rをファイナライズすると、通常のCDプレイヤーで再生できるようになります。ファイナライズされたCD-Rにはそれ以上録音することができません。なお、ファイナライズされたCD-Rをセットすると、本機はCDとして認識します。

CD-RWをファイナライズすると、CD-RW対応のCDプレイヤーで再生できるようになります。ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください(31ページ)。

1 トレーIIに録音したCD-RまたはCD-RWをセットする。



2 FINALIZEボタンを3秒ほど押す。

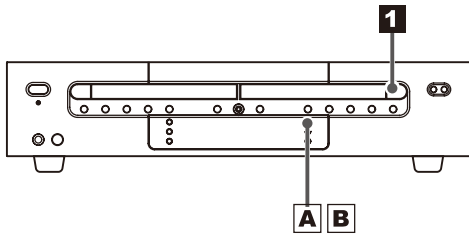


ファイナライズが始まり、「FINALIZE」がスクロールします。ファイナライズには約1分かかります。

ファイナライズが完了すると、「COMPLETE」と表示して、停止します。

- ファイナライズ中はボタンを押しても機能しません。
- ファイナライズ中は電源コードを抜かないでください。
- FINALIZEボタンは停止中にしか使えません。

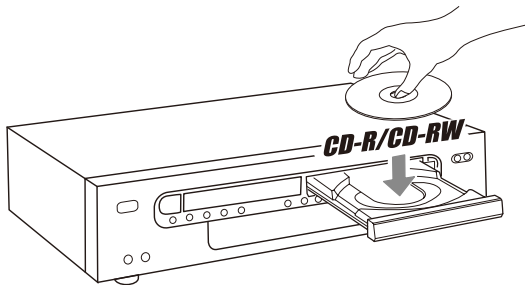
アンファイナライズと消去(CD-RWのみ)



CD-RWの「最後のトラックの曲」または「全曲」を消去することができます。
途中に収録された曲だけを消去することはできません。

ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください。

1 トレー II にCD-RWをセットする。



2 アンファイナライズする。

ERASEボタンを2度押して（またはERASEボタン→ENTERボタン、またはERASEボタン→FINALIZEボタンを押して）アンファイナライズをはじめます。



アンファイナライズ



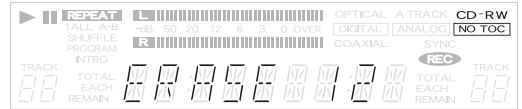
"UNFINALIZE"がスクロールします。
アンファイナライズが完了すると"COMPLETE"と表示して、停止します。

- ・ファイナライズしてないCD-RWは、追加録音や消去する際にアンファイナライズする必要はありません。

A 最後のトラックの曲を消去するには

ERASEボタンを2度押して（またはERASEボタン→ENTERボタンを押して）最後のトラックの曲を消去する。
※途中に収録された曲を消去することはできません。

1 曲消去：最後の曲だけを消去します。（例：曲番12）



- ・さらに消去を続けたい場合は、この操作を繰り返します。
- ・取り止めたい場合は停止ボタンを押してください。

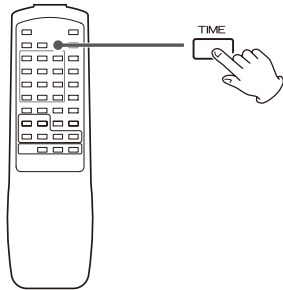
B 全曲を消去するには

ERASEボタンを3秒以上長押しする。



"ERASE ALL"が点滅します。
全曲消去が終了すると"COMPLETE"と表示して、停止します。

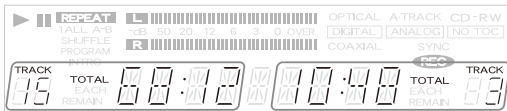
ディスプレイの表示



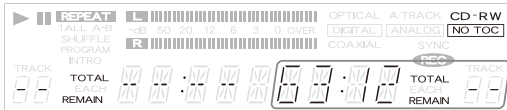
リモコンのTIMEボタンを押すと、ディスプレイの表示が変わります。

停止中

総曲数および総再生時間

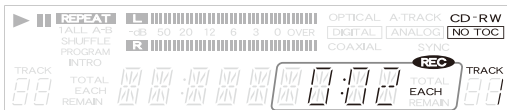


録音可能時間(CD-RまたはCD-RWの場合)

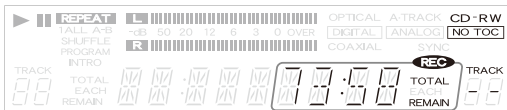


録音中

録音中の曲の録音経過時間

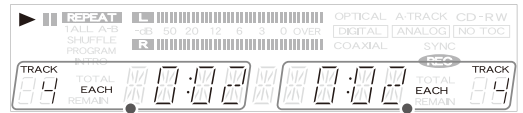


録音可能時間



再生中

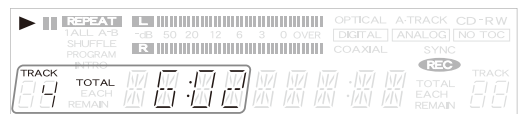
再生中の曲の経過時間



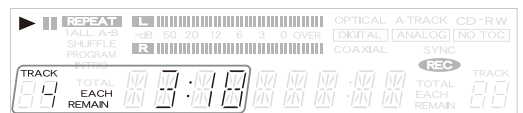
トレー I で再生した場合

トレー II で再生した場合

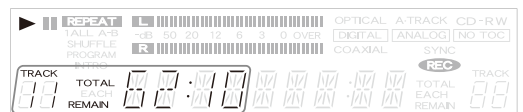
再生中のディスクの総経過時間



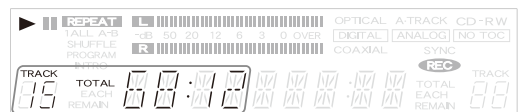
再生中の曲の残り時間



再生中のディスクの残り時間



総曲数および総再生時間



メッセージ一覧

通常メッセージ

BLANK

何も録音されていないディスクです。

CLOSE

トレイを開めます。

COMPLETE

録音、消去またはファイナライズが完了しました。

DUBB 1×、DUBB 2×、DUBB 4×

1倍速、2倍速または4倍速でダビングします。

ERASE **

CD-RWの全曲(または最後の曲)を消去します。

FINALIZE

ディスクをファイナライズします。

INCLVL **

オートトラックで自動的に曲番を付けるときの設定値。
(インクリメント)

MANUAL

手動で曲番を付けます。オートトラックはオフです。

NO DISK

ディスクはセットされていません。

OPEN

トレイを開きます。

PMA WRITE

録音した内容をディスクに記録中です。
(PMA : Program Memory Area)

READING

ディスクの情報を読み取り中です。

REC **DB:D2

録音レベルの設定値。

STEP **

プログラム番号。

SYNC-1

1曲だけシンクロ録音します。

SYNC-ALL

全ての曲をシンクロ録音します。

UNFINALIZ

CD-RWをアンファイナライズします。

(**には数字が入ります。)

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたときは、停止ボタンを押してから原因を取り除いてください。

CAN'T REC

録音/消去/ファイナライズできません。ディスクを交換してください。

ファイナライズ済のCD-RWの場合は、アンファイナライズしてください。

D-UNLOCK

デジタル入力信号を検出できません。接続を確認し、DIGITAL INに接続した機器の電源を入れてください。

DISK FULL

曲数、または録音時間が限界なので、録音できません。

NO SPACE:D2

録音用のディスクの曲数、または録音可能時間がコピー元のCDに対して不足しているため、途中までしかダビングできません。

PGM FULL

すでに32曲プログラムされています。これ以上はプログラムできません。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご連絡ください。

電源が入らない

→電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない

→システムとの接続を確認してください。

→アンプの操作を確認してください。

再生できない

→結露している場合は、ディスクを取り出して数時間放置してください。

→何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。

→ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。

→ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

音飛びがする。

→振動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。

→ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

録音できない。

→音楽用のCD-R/CD-RWを使ってください。

→ファイナライズ済みのCD-R/CD-RWには録音できません。ディスクを交換してください。

→CD-Rの録音残り時間が足りない場合は、ディスクを交換してください。

→CD-RWの録音残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかディスクを交換してください。

→録音レベルを調節してください。

→アンプの操作を確認してください。

リモコンが操作できない。

→電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。

→本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

雑音がする。

→テレビなど強い磁気を帯びたものからは十分離して設置してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常に動作しなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

仕様

記録メディア	音楽用CD-R/CD-RW
オーディオ入力	アンバランス型(RCA)
オーディオ出力	アンバランス型(RCA)
デジタル入力	コアキシャル(同軸) オプティカル(光)
デジタル出力	コアキシャル(同軸) オプティカル(光)
ヘッドフォン出力	1系統(110mVrms ±2dB)
入力サンプリング周波数	32kHz~48kHz
録音サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	20Hz~20kHz (再生時：±1.5dB、録音時：±1.5dB)
ダイナミックレンジ	92dB以上(再生時) 86dB以上(録音時)
全高調波歪率	0.01%以下(再生時) 0.02%以下(録音時)
ワウ・フラッター	測定限界以下
S/N比	92dB以上(再生時) 86dB以上(録音時)
電源	100V AC、50-60Hz
消費電力	20W
外形寸法	435(W)×325(D)×102(H)mm (端子・ボタン含む)
質量	5.1kg
付属品	取扱説明書(1) 保証書(1) リモコン(1) 単3乾電池(2) アンバランス型(RCA)ケーブル(2) デジタル(OPTICAL)ケーブル(1) 電源コード(1)
JANコード	4992287605008

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

 **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

保証とアフターサービス

●保証について

- 1.この製品には保証書を別途添付しております。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえで取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
- 2.保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は保証書の記載内容により、ご購入後販売店または弊社が修理いたします。その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 3.保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入後の販売店または当社にご相談ください。保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
- 4.この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

●サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、ご購入のお店または弊社の国内営業本部にご遠慮なくご相談ください。

- 1.型名、型番
- 2.故障の内容
- 3.ご購入後年月日
- 4.お名前、住所、電話番号



CEC 株式会社 <http://www.cec-web.co.jp>

サービスセンター：有限会社エステック 修理センター

〒370-0535 群馬県邑楽郡大泉町寄木戸 1316-5
TEL : 0276-49-5036 FAX: 0276-62-8341